

放射線防護食品エビデンスレポート

No063

1. 文献名

Ciorba MA, Stenson WF. Probiotic therapy in radiation-induced intestinal injury and repair. Ann N Y Acad Sci. 2009; 1165: 190-4.

2. 目的

放射線誘発腸障害および修復におけるプロバイオティクスによる治癒効果について評価する。

3. データソース

PubMed

4. 研究の選択

これまでの放射線誘発腸障害および修復におけるプロバイオティクス関連研究または報告について、人または動物での評価法をまとめたレビュー。

対象	—
投与方法	—
投与のタイミング	—
投与物質	probiotics

5. データ抽出

放射線誘発腸創傷および修復に対するプロバイオティクス治療の開発に関して参考文献からの有用情報の収集・報告形式。

6. 主な結果

放射線誘発腸創傷を抑制するプロバイオティクスの利用における様々なエンドポイントを評価した。新しい実験データにより、特定のプロバイオティクスもしくはその分泌物などのプロバイオティクス由来物質が特有の放射線防護性質を持っていることが示唆された。

7. 結論

プロバイオティクスはその放射線防護効果についてさらに研究が進められるべき有用な素材である。

簡易な要約(plain language summary)

放射線誘発腸障害および修復におけるプロバイオティクス治療

電離放射線による腸障害は臨床的に重要な事実である。例えば、放射線照射後、骨盤の悪性腫瘍の症状が発生する。放射線の防護および治癒はたいへい不十分である。一方、健康効果のあるプロバイオティクス細菌が治療に役立つことが示されている。ヒトおよび動物で行ったこれまでの報告で、放射線誘発腸障害を抑制するプロバイオティクスの利用における様々なエンドポイントを評価した。新しい実験データにより、特定のプロバイオティクスもしくはその分泌物などのプロバイオティクス由来物質が特有の放射線防護性質を持っていることが示唆された。ここでは、放射線誘発腸創傷および修復に対するプロバイオティクス治療の開発について報告する。

8. 安全性評価か有効性評価か

有効性評価が述べられている。

9. 論文中の有害事象・副作用の記載

副作用は報告されていない。

10. カテゴリーの規格基準に関連する事項や図表

記載なし

11. キーワード

probiotics, radiation, enteritis, lactobacillus rhamnosus GG, LGG, COX-2

12. 関連する食品認証と用途

認証食品ではない

13. 備考